

# 報 土 づ ぐ り



## 色んなものを見て視野を広げて

下関のクライアント・境脇将國さんは、とても明るく穏やかで、現場はいつも笑いに包まれています。現在、一般就労を目指して就労継続支援B型(就B)で働かれている境脇さん。今回は、境脇さんの甘酸っぱい想い出や、今後の夢についてお話を伺いました。

### ■現在の生活について

近くに住む母が、仕事前に毎朝1時間ほど来てくれています。手作りのご飯と一緒に食べて、一日の流れを確認しています。

今は祖母と二人で暮らしています。祖母も高齢になってきたので、平日はほぼ毎日、日中の早朝〜夜間帯遅くまで、重度訪問介護支援のサポートを受けています。平日の基本的な支援時間帯は、8

時半〜9時が他事業所さん。12時〜15時と18時〜24時、金曜日と土曜日は入浴も含めて16時〜翌8時と、長い時間帯を土屋さんに入ってもらっています。

他には、就B事業所で仕事をしたリ、趣味でDVD貼付け用のラベルをパソコンで編集して作っています。音楽やアニメが好きなので、録画したDVDに貼って楽しんでます。

### ■子どもの頃のお話

小さい頃からキャラクターは変わっていきなくて、取り柄といえは明るいこと。子どもの頃は友達とよくゲームをして遊んでいました。

小学校入学の年に、周りに勧められて養護学校(現特別支援学校)に見学に行きました。霧田さんがとても暗くて、行きたくなかったんです。だから母に「どうするの」と聞かれた時、「嫌だ」と言いました。その時のことは、とてもよく覚えています。

母も、「嫌だ」という所に自分の子供を行かせたくないと言ってくれて、地元の小学校に通うことになりました。小3まで、母同伴で授業を受けていたんですが、4年になった時、担任の先生が「お母さん、もういいですよ」と言ってくれて。担任が校内での世話をしてくれたので、そこからは皆と同じように授業を受けていました。

### ■初めての部活動

中・高も地元の普通学校に通いましたが、高校では初めて部活に入ったこともあり、本当に楽しかったです。もともと好きだったパソコン部に入部し、ワード検定の試験勉強をしていました。

その頃に、好きな子もできたんです。その子が、たまたま同じ部に入るようになって、部活に行くのが楽しみでしかたなかった(笑)

### ■甘酸っぱい想い出

実は、卒業間近に彼女に告白を…言葉では言えず、手紙を書いて渡しました。手紙は受け取ってもらえなかったんですけど、「すいません」と言われてしまい…卒業後、一週間くらいし



22歳の頃 大阪の海遊館で

てから、長文のメールで丁寧に気持ちを説明してくれました。ずっとその子が好きで、卒業してからもしばらく引きずっていたので、本当に好きだったんだらうなって。甘酸っぱい想い出です。

### ■働きたい!

高校が進学校だったので、卒業後は大学に行く予定でしたが、学校側の手違いで、受験できなくなりました。かなり落ち込みましたね。2年間ぐらいい何もしない時期があったんですが、その中で「働きたい」という想いが強くなってきて、障害区分認定調査員の方に就Bの事業所を紹介してもらいました。

その事業所で5年半働き、その後、デイサービスで介護事務の仕事をして2年半ほどしました。そして、また就B事業所に戻って、今は主に、金属部品にローラーをはめ込む、企業の下請けの仕事をしています。耐震に使われる部品



### <クライアント>

名前:境脇将國  
出身:山口県下関市  
年齢:30歳  
障害名:  
脳性麻痺・両上肢運動機能障害・移動機能障害

作りです。他にも請求書関係のフォーマットを作成したり、とうがらしパウダーの袋詰めなどもしています。

■パソコンを使った仕事がしたい！

以前は週に5日、就Bに行っていました。が、アテンダント(ヘルパー)の送迎や母の仕事の都合で、今は週1、2日ほどに。最近在宅ワークで、ネットでお小遣い稼ぎもしていますが、こちらの収入は微々たるものなので、一般就労がしたいですね。

今後はパソコンを使える事務の仕事に戻れたらいいなど。自分ができるところを活かせる会社に就職したいです。そして、お給料で好きなことをしたり、将来に向けて貯金したいです。いつか、結婚できたらいいな。

■やってみたいこと part1

〜散歩〜

今は自宅と就 B 事業所の往復くらいしか外出していないので、日常的に外出する機会を増やしていきたいです。

僕の暮らしているところは、以前は田んぼばかりだったんですが、だいたい都会化してきたので、近隣にあるショッピングモール・ゆめシティやレンタルビデオ店にアテンダントと行って息抜きをしたり、余暇を楽しみたいです。

■やってみたいこと part2

〜一人暮らし〜

今は祖母と暮らしているので、どうしても自分の時間が持てなかったり、部屋のスペースも限られてくるので、一度そ

こから抜けるという意味で、一人暮らしをしたいです。大変だとは分かっています。が、経験してみたいです。

■やってみたいこと part2

〜お悩み相談室〜

元々、人の話を聞いたり、初対面の人でも「どんな人なんだろう」と観察するのが好きなので、お悩み相談室のようなことしてみたいです。

今までも同僚から悩みを相談されることはよくあつて。もつとも夜中に4、5時間、電話で話を聞いたりして、自分の時間がなくなるくらいの時期もあつたので、逆にそれに悩んでいたこともありましたが(笑)

実は僕自身も、ため込んでつづればやすい性格なんです。大学へ行けなくなつたときも「自分は何ができるのか、何をしたいのか」、そういうのが全く見えなくなつて、自暴自棄になつたこともありました。

でもその時、信頼するアテンダントが僕の悩みを真剣に聞いてくれて。聞いてもらうことで発散できる部分があつた。聞くだけでも救われると思うので、その経験を活かしたいです。

■土屋のアテンダントと共に

食えることが大好きで、少 तरीバウンド気味なので、ケアは男性のアテンダントにお願いしています。皆さん、優しい方ばかりなので、今のところは楽しく生活しています。何か問題があつても、管理者の浦上さんがすぐに解決してくれるので、困ることもないです。

争奪! 言葉の選び方ひとつで

障害のある夫と結婚してから度々、なぜ結婚したのかと聞かれて来ました。中でも「お腹の子は主人の子なの?」「どうして子供を作ったの?」「どうして子供に聞かずに質問が一番衝撃的でした。大抵の場合、大変なのに何故結婚したの? 大変なのになぜ子供を作ったの? 大変なのになぜ仕事をしているの? 大変なのに why... と、「家庭に障害者の居る家族はきつ」と大変」という思いから、心配と同情の気持ちと少しの好奇心で聞いているのかなと思います。でも、なぜ?と問われても答えられません。だって、人類の多くは恋愛して結婚して子供を授かっています。聞かれても困るのです。こういった言葉は、差別、偏見といった負の感情と繋がるわけでは無いですが、ジワッと不快感を覚えます。なぜと問うのではなく、例えば「きつ」と大変なことも多いのに頑張っているね」という声掛け程度がお互い気持ちが良いと思うのです。ただでさえ障害の受容を求められ、自分は二の次の生活になりがちで、中には誰にも相談できないと思ひ込んで抱え込む人も多い家族のストレスを増やさないで欲しい。

「夫が魅力的でいい男なのよ。♡♡♡♡」

「こもゆみ」

■これから

もちろん、「この先どうしようか」ということは常に考えていますが、そればかり考えていても仕方がないので、就Bなどでバランスを取ります。

障害を持つっていると、どうしても決まった世界の中だけで生きることが多くなつてしまいます。でも、家の中に閉じこもつて、見える世界を狭めたくないという想いがあるんです。

外出や遠出をして、いろんなものを見て視野を広げること、自分自身も変わっていくと思つたら、そうしていきたいですし、他の方もそうあつてほしいです。



広報・土づくりへの  
ご意見・ご感想

今後取り上げてほしいテーマなどをお聞かせください。また、株式会社土屋の取組みについてのご意見もお寄せください。



ご意見・お問い合わせ窓口  
client@care-tsuchiya.com



株式会社 土屋

本社:岡山県井原市庵原町192番地2久安セントラルビル2階